

[めあて]

恩納村の文化財「とうじん ぼ ひ唐人墓碑」について調べよう

その1 歴史資料（記録）から調べる

今から198年前、琉球の国王から中国皇帝こうていに送った文書に唐人墓碑のなぞを知る手がかりがあるよ。この内容から何がわかるかな？



琉球国王しやうこう尚瀨より中国しん（清の皇帝）へ、中国人ひょうちやくしゃ漂着者について知らせる書

（1825年3月10日）

道光4（1824）年12月6日、中国人の漂着者ひょうちやくしゃが6名、水櫃すいひつ（木製の大きな桶のようなもの）に隠れた状態で、仲泊なかとまりに流れ着きました。すぐに地元の人々を集め、岸まで助け上げました。そのうち5人はすでに死亡しており、1人は飢えで瀕死ひんしの状態でした。すぐに粥かゆを食べさせ、看護かんごした結果、元気を取りもどしました。

生き残った者から話を聞いたところ、このように話しました。

『私の名は呂正ろせい、死んだ者の名は① 呂孝ろこう・呂春ろしゆん・洪貴こうき・呂仁ろじん・胡明こめいで、みな、福建省泉州府同安県ふっけん せんしゆう どうあんの商人で、もともと船には32名が乗り込んでいました。今年の5月22日に起航し、26日台湾で米を積んで、天津府てんしん（現在の中国天津市）で商売をし、10月28日山東省サントンに到着し、11月4日福建省へ戻るため、出発しました。

11月12日になって、突然、台風あに遭い、船が沈没ちんぼつし、船員26名が溺れ死んでしまいました。生き残った6名は、わずかな量にんじんの人参・米などの食べ物を持って、水櫃すいひつに入ったまま、波に漂ただよっていました。幸いにも神様のご加護かごにより、12月6日、貴国きこく（琉球）に漂着ひょうちやくすることができ、命からがら助かることができました。でも呂孝たち5人は飢えや渴かわきに堪えられず、次々と死んでしまいました』

地元の役人は、棺桶かんおけや葬式そうしきに必要な品物しなものを用意し、呂孝たちの遺体ろこう5体を埋葬いたいし、墓標まいそう ぼひょうを建てました。

また、生き残った呂正ろせいは、12月11日までに、泊村とまりむら（現在の那覇市泊）の館とまり やかた（漂着者收容所）に送られ、毎日医者ちりようの治療を受け、食料・衣服・蚊帳・酒や肉などが与えられました。

れきだいほうあん
（「歴代宝案」2-140-11号文書より）

とうじんぼひ

Q「唐人墓碑」には何が刻まれているかな？
「歴代宝案」の記録から亡くなった人の名前や
日付などを書き出して、□を埋めてみよう。



[恩納村博物館前にある「唐人墓碑」](#)

清
考

福建省泉州府同安縣難民餓死水櫃飄来

道光					
年	⑤	③	①	②	④
月					
日					

等
墓